

## 平成 29 年度 これまでの市の主な取組の実績

### 1 . 交通安全関係

スクール児童館と連携した自転車交通安全教室を実施した。

高齢者が被害者や加害者になるケースが増加していることから、高齢者の事故防止対策の強化を図るため、新たに市立室蘭総合病院玄関前にて啓発を行い、事故防止を呼びかけ、高齢者の意識高揚を図った。

胆振管内の 11 市町において、“交通事故のない、安全で安心な 11（いい）胆振地区を目指そう”をスローガンに胆振 11（イレブン）・セーフティー・ネットワーク作戦として、交通死亡事故の絶無を目指す宣言書を作成し、交通事故防止抑制対策を推進した。

飲酒運転根絶緊急対策として、飲酒運転根絶総決起集会を実施し、“飲酒運転をしない！させない！許さない！”を合言葉に、市民や飲食店に対し、飲酒運転根絶の啓発活動を実施した。

### 2 . 防犯・暴力追放関係

東明地区安全推進対策協議会を主体として不審者から子どもを守るためのパトロール等を実施している東明地区が、道より防犯活動推進地区に指定され、その活動の一環として、『安全・安心どさんこ運動』ネットワーク交流会を実施し、地域の関係機関・団体間の連携や、地域住民の防犯意識の高揚を図った。

相次ぐオレオレ詐欺の被害防止対策の強化を図るため、室蘭警察署で作成した、家族間などで決めた合言葉を書き込むシートを広報紙を通して周知し、被害防止を図った。

### 3 . 防災関係

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備えて、全国瞬時警報システム（Jアラート）を用いた訓練を実施した。

## 4 . 消費者関係

新たな悪質商法や消費者被害の防止のため、市オリジナルの訪問販売お断りステッカーを作成し、出前講座の際に配布を行い、被害の未然防止を図った。

実績（H29年11月末現在、予定分を含む）

- ・出前講座 27件
- ・参加人数 872人

高校を卒業し、社会に出たり大学に進学すると、消費者トラブルに遭う機会が増える傾向にあり、特に賃貸借、インターネット、マルチ商法などの消費者トラブルが多いことから、高校生に対する消費者教育が重要となるため、出前講座を実施し、若者の消費者被害防止を図った。

実績（平成29年11月末現在、予定分を含む）

- ・1校 129名

消費者被害についての知識と消費生活センターの存在を広く市民に周知し、被害を未然に防止するため、消費者生活サポート情報を作成し、広報むろらんの折り込みチラシやメール配信、町内会への回覧等を行った。

高齢者の消費者被害未然防止のため、高齢者と関わりの多い民生委員児童委員や包括支援センターなどに対し、詐欺の手口やきづきのポイントなどが明記されたパンフレットを配布し、消費者被害の未然防止、早期発見、情報提供などの協力を依頼した。

## 5 . 高齢者関係

認知症の人や家族が気軽に集い、専門家への相談などができる「認知症カフェ」を舟見町・東町に加え、新たに白鳥台に設置した。

地域の介護予防・生活支援ニーズの把握や必要サービスの開発・提供体制づくりを行うため、生活支援コーディネーターを配置した。

介護保険制度の改正に対応した本市の独自事業として、早期から介護予防に取り組む「お元気くらぶ」や、家事支援を目的とした「短時間ヘルプサービス」、運動トレーニングを行う「ちょこっとデイサービス」を開始した。